

# 指笛音楽創始者 田村大三先生 追悼演奏会

～76周年 指笛音楽研究発表会～



特別出演・田村ファミリー

ドラマティックソプラノ……田村 静海

ピアノ……石原 泉

指笛……松島 恵

ヴァイオリン……石原 翠

指笛(DVD映像)……故・田村 大三

2010年11月20日(土)

開場/12:30 開演/13:00

練馬文化センター(小ホール)

主催：指笛楽友会

昨年、「田村大三指笛音楽75周年記念」演奏会に田村大三は出場がいよいよ不可能となり創始者のいない会となりました。しかしその会は誰もが想像していなかった感動的な会であった事を今更のように思えてなりません。それは田村大三の深い祈りの力を感じるものでした。

さて本日迎えている追悼・指笛音楽76周年記念演奏会には田村大三はどのような祈りを…と、思う私は今年の感動に繋がってゆくよりよい会にと、特別崇高な気持ちとなっています。

『昨年75周年記念に寄せ田村大三は神から尊い器に生かされました』  
“神の国の御栄は「75」という年から祝福の源を約束されました”  
信仰より、本年76周年の会も田村大三の生かされている器から存分に祝され一人一人最高の演奏が期待されます。

田村 静海

---

父の亡くなる数カ月前だったと思う。寝ている父に帰りの挨拶をしようと部屋に入ると、ちょうどダン・タイ・ソンの『別れの曲』のCDがかかっていた。父とも何度も合わせたことを思い出し、父が「またね…」と言っているようだった。ピアノの練習曲の最高峰のひとつであるこの曲は、ショパン自身がこれ以上美しい旋律は書けないと言ったほどだが、確かに今も父の吹くこの旋律は、私の耳の中に残っている。父の肉体はこの世から無くなったが、各々の音楽を奏でるところに、父は今も力強く生きている。

石原 泉

---

天国の父に向けて追悼文を書かなければならない日が来るとは正直未だに実感が湧かない。怪我をして以来、言葉が出なくなったりと明らかに状態は良くなりはしなかったのに、もしかすると父は急に超人のように回復して元通り元気になるんだとどこかで思っていた。それほどに特別な人だったしエネルギーが豊富だったから今は生きていないとは到底思えない。だから今日も当たり前のように『一緒に居てくれて有難う』と父の最も傍に行くために、私は指笛を吹く。

松島 恵

プログラム ～第一部～

アナウンス: 斎藤千織

オープニング

No.	出演者	演奏曲	作曲者
1	船田 弘子	♪ アメージング・グレイス	黒人霊歌
2	青山 久美子	♪ 丘に立てる荒削りの十字架	聖歌402 GEORGE BENNARD
3	有賀 猛	♪ 琵琶湖周航の歌	吉田 ちあき
4	有吉 潤子	♪ 枯葉	ジョセフ・コスマ
5	中澤 忍	♪ 旅愁	オード・ウェイ
6	奥津 恭子	♪ 浜辺の歌	成田 為三
7	神田 竹良 中澤 宏則	♪ 北上夜曲	安藤 睦
8	栗田 勲夫	♪ おぼろ月夜	岡野 貞一 (ピアノ: 岩澤二郎)
9	片井 久雄	♪ 川の流れるように	見岳 章
10	吉田 重雄	♪ ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
11	武井 洋子	♪ 思い出のアルバム	本多 鉄男
12	藤好 真也	♪ 自然における「神の栄光」	ベートーヴェン
13	有吉 憲行	♪ 恋の悩み知る君は	モーツァルト
14	河津 菊枝	♪ 私を泣かせて下さい	G・F・HANDEL
15	藤好 清晴	♪ 見上げてごらん夜の星を	いずみ たく
16	塩谷 彰宏	♪ カッコウ・ワルツ	ヨナーソン

休憩

プログラム ～第二部～

出演者	演奏曲	作曲者
	♪ 紅葉(もみじ)	岡野 貞一
合同演奏	♪ 勝利の歌	ヘンデル
	♪ クワイ河マーチ	アルフォード

プログラム ～第二部～

No.	出演者	演奏曲	作曲者
1	村山 壮人	♪ 若者たち	佐藤 勝 (ピアノ:余越真理)
2	小林 信也	♪ 愛燦燦	小椋 桂 (ピアノ:余越真理)
3	安西 武雄	♪ 銀色の道	宮川 泰
4	松谷 茂	♪ 平城山	平井 康三郎
5	垣花 譲二	♪ 「童神」(わらびがみ)	佐原 一哉
6	片山 陽一	♪ 芭蕉布	普久原 恒雄
7	倉木 成伊知	♪ マイ・ウェイ	ジャック・ルヴォー
8	斎藤 秀元	♪ 影を慕いて	古賀 政男
9	中村 倫二	♪ 口笛吹きと子犬	ブライヤー
10	杉田 隆則	♪ キエレメ・ムーチョ	C・Roig
11	水沼 武彦	♪ 鳥の歌	タブロ・カザルス

休憩

プログラム ～第三部～

	出演者	演奏曲	作曲者
指笛独奏	松島 恵	♪ アヴェマリア 村の娘	シューベルト ラツァロ
ソプラノ独唱	田村 静海	♪ 愛の讃歌 ♪ 或る晴れた日に ～オペラ「蝶々夫人」より	マルグリット・モノー ブッチーニ
ピアノ独奏	石原 泉	♪ エチュードOp.10 No.3「別れの曲」	ショパン
ヴァイオリン独奏	石原 翠	♪ 「イタリア組曲」より	ストラヴィンスキー
指笛独奏	松島 恵	♪ Forbidden Lake	喜多嶋 修
指笛と歌	田村ファミリー	♪ エーデルワイス	R・ロジャーズ
指笛独奏	故 田村 大三	♪ 神の小羊 (55周年記念 映像より)	



# 出演者の一言集

## 1-1 船田 弘子 アメージング・グレイス

初めて聴いた田村先生のカッコウ・ワルツに魅了され入門、以来半世紀、指笛の家中野、大泉と様々な出来事が脳裏を駆け巡っています。藤好さんのお陰で最後のお別れの日先生とお会い致す機会に恵まれ感謝です。指笛を吹けなくなった私を大きな愛で支え続けて下さり、指笛と後藤先生の詩を通して多くの方達とふれあう喜びや勇気を与えて戴き誠にありがとうございました。拙い歌ですが感謝を込め歌いたいと思います。

## 1-2 青山 久美子 丘に立てる荒削りの十字架

45年前、高校を卒業した直後、私の所属する新潟県長岡市の小さなキリスト教伝道所の特別伝道集会にお招きしたのが、田村大三・美都子先生ご夫妻でした。小学校の体育館を会場に、その響き渡る指笛の透徹した美しい音色に圧倒されたことをよく覚えています。その時演奏されたのがこの聖歌で、私が指笛と出会った最初の曲です。田村先生の魂の安らかならんことを祈りつつ、演奏したいと思います。

## 1-3 有賀 猛 琵琶湖周航の歌

田村大三先生のすばらしい音色の指笛に感銘を受け楽友会に入会して、初めての演奏会が追悼演奏会となります。感謝を込めて、演奏したいと思います。この歌は、学生時代に琵琶湖の浜でよく歌った歌です。

## 1-4 有吉 潤子 枯葉

2004年10月指笛楽友会では田村大三先生・静海先生と御一緒に新潟県津南町へ旅行しました。その時に津南中講堂で大三先生は御挨拶なさいました。「どうぞ皆さんも色々な楽器を奏でて、心の歌を歌ってください。しかしやがては一人一人の魂にうったえる音楽を奏でてください。」とおっしゃいました。私は今回の指笛発表会に「枯葉」を選びました。大三先生がお話されたお言葉を大切に思いながら、歌って指笛演奏します。

## 1-5 中澤 忍 旅愁

悲しみとはこう言う事でしょうか。伝統ある楽友会に新入生として入会できる事の誇りと希望に胸膨らませて、大三先生にお会い出来る喜びに会長の斎藤秀元先生に手を引かれてお伺いしました。その日が大三先生との最初の日で、最後のお別れの日となりました。指笛を生涯の友とし練習に励みます。亡き大三先生に届きますように。

## 1-6 奥津 恭子 浜辺の歌

舞台上で聴く田村大三先生の美しく澄んだ音色の指笛はもう聴く事が出来なくなり本当に残念に思います。今でも指笛を演奏される時のお姿が目には浮かんでまいります。先生はよく感謝という言葉の口になされました。私も指笛に出会えた事を感謝し、これからも精進したいと思います。「浜辺の歌」は大正5年に作られました、秋の朝と夕の情景を何となくセンチメンタルに表現しています。

## 1-7 神田 竹良 北上夜曲

透き通るような音色に魅せられ、指笛を始めて3年、未だ思うような音が出ず、毎日苦戦が続いています。練習は車の中。少しいい音が出たかと思うと、次の日はままならず、それでも3年はやってみようという覚悟してやって来ました。最近は少し楽しくなり、きれいな音が出ると自分で感動します。まだ皆さんにお聴き戴く程ではありませんが、本日は先輩のお力を借りて一緒に演奏させて戴きます。3年間の成果をお聴き下さい。

## 1-7 中澤 宏則 北上夜曲

この夏のこと、青森から日本海側を南下し、能代から秋田道に乗りました。間もなく、仙北市の標識を発見、北上の手前でもあり北上夜曲を吹き、いい曲だなと感じました。暫くして、共演を約束していた神田さんから、北上夜曲にしませんか、との話がありびっくり、即決しました。未熟ですが、田村先生のことを思い出しつつ、心だけは込めたいと思います。

## 1-8 栗田 勲夫 おぼろ月夜

私は、大三先生の生の演奏を拝聴した事はありません。そんな私でも指笛音楽の素晴らしさ、楽しさを知り、義母を通して楽友会に入れていただきました。「いつでも、どこでも、誰でも」楽しめる指笛を芸術まで高め、広められた先生を心から尊敬いたします。これからも演奏を続け、私のように先生の生の音を知らない人たちでも「指笛音楽をやってみたいな」と思えるような演奏を私なりに模索して行きたいと思います。

## 1-9 片井 久雄 川の流れるように

いつの間にか何となく流されて来た人生。ふり返ればまたたく間に過ぎてしまったような気がします。でも、これからもこの「川の流れるように」の歌のよう、あせることなく、何事にも希望を持って、さからうことなく、ゆったり、かつ真面目に取り組んで行きたいと思います。

## 1-10 吉田 重雄 ロンドンデリーの歌

遂に、巨星墜つ。私大三先生の門下生にして頂いたのは平成4年5月。以来18年、厳しい中にも暖かみのあるご指導を頂いて、曲がりなりにも指笛が吹ける様になり、今では「指笛音楽」は無くしてはならないものとなった。しかし途中私が病氣した事も有り、残念ながらこれ以上の指笛の進化は望めないが、今まで大三先生に教えて頂いた事を後輩の人々に伝えて行く事は出来ると思うので、この面で最善を尽くして行きたいと思う。

## 1-11 武井 洋子 思い出のアルバム

平成15年秋田県仙北町で田村先生が受られた文化勲章の受章式の折に立ち寄った「大三先生の大切な思い出の地、池田邸庭園」で私が写した写真が表紙になったことは、私にとっては「思い出のアルバム」のこの歌に尽きます。指笛音楽に籠めた「先生の魂の叫び」の音色と温かい握手は私だけでなく多くの方々的心に残っていると思います。そして思い出されるのは大三先生の「感謝です」のお言葉です。本日は今までの思い出に感謝をこめて。

## 1-12 藤好 真也 自然における「神の栄光」

今年は発表会出場歴15周年です。素晴らしい指笛に巡り会えたお陰で、様々な場所で演奏や出会いの機会が与えられ神様に感謝しています。田村先生の栄光ある指笛を絶やすことなく、今後も吹き続けて行きたいと思います。

### 1-13 有吉 憲行 恋の悩み知る君は

今年5月にオペラ「フィガロの結婚」を劇場で観ました。この歌は劇中第2幕で小姓ケルビーノが伯爵夫人に思いを寄せて歌う恋歌です。モーツァルトらしい繊細で軽やかな、そして生命力があるような音楽に感じられましたので、私は演奏曲として選びました。天国に召された田村大三先生へこの歌を指笛に託してお届けしたいと思います。

### 1-14 河津 菊枝 私を泣かせて下さい

約20年前に先生の指笛を拝聴し感動しました。創始なさることの偉大さを感じながら少しでも近づけられるよう精進していきたいと思います。

### 1-15 藤好 清晴 見上げてごらん夜の星を

田村大三先生と出会って13年になり、改めて指笛のすばらしさを知りました。指1本で音楽が楽しめるって何と凄いことだと思います。定年を機会に新しく趣味を増やせたらと思い田村先生宅に指笛レッスンに通い続けました。お陰様で人との出会いも増え、これから生きて行くうえでの大きな励みとなっています。田村大三先生には心から感謝申し上げます。

### 1-16 塩谷 彰宏 カッコウ・ワルツ

5月3日に、青森市民ホールで、「田村大三先生追悼指笛コンサート」を開催しました。田村先生を偲んで、15曲演奏しました。また、プロの音楽総合企画スズキ様の御協力を得て、新しいCD「指笛」(1,000円)を創りました。今日は、子どもの頃、NHKテレビから流れてきた、田村先生の指笛の音を思い出しながら「カッコウ・ワルツ」を演奏します。

### 2-1 村山 壮人 若者たち

人を敬い、人を信じ、人を愛する人たちの集い「心の家」を創ったのは後藤静香先生。その心の家の先輩後輩としての出会いから、指一本の音楽「指笛」に魅せられて、田村大三先生にはこの十数年、特に親しくご指導いただいた。ようやく人前で演奏できるようになったが、まだまだ道は遠い。そんな思いを込めて「若者たち」を選んでみました。

### 2-2 小林 信也 愛燦燦

田村先生に出会ったのは二十数年前埼玉県新座市サッカークラブへ指笛指導にお出でになられた時でした。その後親しく出会ったのは楽友会70周年記念演奏会后、新潟県津南町へ旅行した際のことです。津南中学校吹奏楽部の生徒さんにお話された折に、「相手の心に響く音楽を…」と大きな声でおっしゃいました。このお言葉が私の心にも強く残っています。指笛を始めて7年田村先生のお心を胸にして、指笛を楽しみながら吹いています。演奏曲は愛燦燦です。

### 2-3 安西 武雄 銀色の道

秋扇(あきおおぎ)という言葉がある。夏に重宝がられた扇。秋風とともに打ち捨てられ、顧みられない悲哀を言う。冬はもう近い。一方お二人方のノーベル化学賞受賞の笑顔がニュース面を賑わす。ノーベル氏はダイナマイトの発明でも知られる。風邪をひいたら指笛が吹けなくなった。本番が心配だ。選んだ曲は「銀色の道」。ダークダックスのテーマソングとしても知られ、高校の教科書にも採用されている。86才。指笛歴はまだ9年。

### 2-4 松谷 茂 平城山

演奏曲・平城山(ならやま)について。初めて大三先生にお会いしたとき、指笛音楽とはこういうものだと試奏していただいたのがこの曲で、さらにその時いただいた先生のライブ録音テープのトップに入っていたのもこの曲でした。いつの頃からかこんな難曲とは知るよしもなくついふらふらと練習し始めてしまったのでした。今後とも先生の音色に半歩でも近づく希望を持って練習するしかありません。

## 2-5 垣花 譲二 「童神」(わらびがみ)

平成17年の7月に「指笛王国おきなわ」を建国して国王に就任した私は、翌8月に田村大三先生宅を表敬訪問しました。田村先生ご夫妻に温かく歓迎していただき、大三先生は車椅子に掛けたまま何度も私の手を握り、激励してくださいました。私はその後指笛楽友会に入会し、沖縄で指笛と指笛演奏の普及などに取り組んでいます。研究発表会は昨年以降2度目の出演です。田村先生の思い出を胸に、精一杯演奏します。

## 2-6 片山 陽一 芭蕉布

山梨にお住まいの作詞家、竹内秀秋先生からチケットが届いて「第70回指笛発表会」を聴きに行ったのが指笛に感動した初めての出会いであった。田村家の門を叩いて6年、斎藤会長にお世話を頂きながら指笛奏者の仲間入りをさせていただいた。同じ志を持つ楽しい仲間恵まれ人生に明るさが灯った気がしている。本日は大三先生の形見の靴で舞台上に上がります。お楽しみ頂ける演奏を心がけ天までお届けしたいと存じます。

## 2-7 倉木 成伊知 マイ・ウェイ

田村大三先生は、呼子の合図代わりに使われていた指笛を音楽芸術の域まで高めようと熱心に研鑽を続け、テレビドラマのテーマ音楽を演奏したり、カーネギーホールで公演したりなど数々の輝かしい実績を残されました。また、深い信仰に基づく福祉施設などの慰問活動も熱心に行われました。私はわずか16年間でしたが、先生と先生の指笛音楽に身近に接することができたことを幸せに感じています。その田村先生の輝かしい人生の足跡に想いを馳せながら、「マイ・ウェイ」を演奏させていただきます。

## 2-8 斎藤 秀元 影を慕いて

初めての出会い。20年前のその日、草笛を習いに田村大三先生宅を訪ねました。しかしその日は草笛はなく指笛の講習が始まりました。私が戸惑っていると、にこやかなご老人が現れました。進行役の方が、「先生、皆さんに一曲お願いします」と声をかけました。するとその先生が「影を慕いて」を演奏されました。柔らかな何と美しい音色！私の体に衝撃が走りました。初めて聴いた指笛演奏に魅了され、これを習おうと決めました。今日はあの時の感激を思い浮かべながら演奏します。

## 2-9 中村 倫二 口笛吹きと子犬

田村先生の思い出。最初に先生宅を訪問と決った時、先生から駅(大泉学園)に下りたら「おそば屋さん」があるから、その前で待っていなさい。車で迎えに行くから・・・と。今、思えば私ごとき者に対し、いとも簡単に行動を起こされたと思う。車種も解らず不安な気持ちで待っていたら突然に大きな音が「ピーッ」と聞こえました。私が最初に聴いた大三先生の指笛の音色です。芯のある素晴らしい一声、いや一音でした。今も私の心の中に鮮明に残っています。

## 2-10 杉田 隆則 キエレメ・ムーチョ

拝啓、先生ありがとう。西側はガラス戸で外に濡れ縁があった。西日が諸に射す為、夏の練習はカーテンを閉め扇風機を回して習った。貨物列車が通ると家はガタガタ鳴り、中断を余儀なくされた。しかし私には格別の室だった。白い漆喰の壁、天井、吟遊詩人らしき油絵、圧倒的な本の数、ピアノに積まれた譜面の山、そこには不思議な満足感が漂っていた。あの時の先生の夢と指笛音楽は今、私の中にセットされている。

## 2-11 水沼 武彦 鳥の歌

「全地よ愛に帰れ」と田村大三先生が指笛音楽を通して訴えて来られたことを私も受け継いで生きたいと願っています。そして、今日は、世界の平和を祈りつつ「鳥のうた」を歌います。チェロ奏者として世界的に有名なパブロ・カザルス氏が国連に招かれた際、世界の平和を訴え、願いつつ「鳥のうた」を演奏されました。そのCDを聴いた私は大変感動し、大好きになりました。そして、彼の心に触れられたらと願い、彼の演奏に合わせて歌ってきました。今日も、失礼ながら、そのようにして歌いたいと思います。